

# ちくしのクリップ

問 秘書広報課

2/1

## 楽しく学ぶボランティア



ボランティア団体がイベントを開催

ふらっと寄り道！見る・聞く・体験～楽しいボランティアあれこれ～は、市内でボランティア活動に取り組む、筑紫野市ボランティアバンクの会と筑紫野市福祉ボランティア連絡協議会が主催したイベントです。それぞれの団体の活動を知ってもらい、一緒に活動する仲間の募集や両団体の連携を強めるために開催されました。参加者は、楽しみながら多様なボランティアの取り組みを体験しました。



点字体験では自分の名前などを点字で書きました

1/24

## 小学生と高校生が スポーツ交流



二日市東小学校イーストフェスティバル

二日市東小学校PTAによるイーストフェスティバルが開催されました。子どもたちの体力向上を支援するために体育館で行われた「筑紫高校生によるボールの投げ方と走り方教室」には80人の児童が参加し、筑紫高校のソフトボール部と陸上部の生徒が指導しました。兄弟で参加した峯本 凰佑さん(当時4年生)と泰輔さん(当時1年生)は、「おかげで速くなれそうです」と笑顔で話しました。



小学生も高校生も楽しみながら交流しました

2/1

## 九州国立博物館 開館20周年記念



山家岩戸神楽 特別公演

1月27日(木)から6日間、九州国立博物館で本市の無形民俗文化財「山家岩戸神楽」の展示会があり、最終日には、神楽の特別公演がありました。博物館開館20周年の節目に、地元で守り継がれる文化を知ってもらおうと企画されました。ロビーでは、市の名産品の販売もあり、県内外からの観光客に向けて魅力をアピールしました。



およそ500人の観客と、山家岩戸神楽「四神」を奉納する子どもたち

1/26

## 山家地域と筑紫・筑紫南地域 に筑紫野のるーと



AIデマンド交通「筑紫野のるーと」出発式

最新技術を活用し、地域の暮らしを守る新たな交通手段として山口地域で運行しているAIデマンド交通「筑紫野のるーと」を、西鉄バスの路線廃止・縮小に合わせて山家地域と筑紫・筑紫南地域でも運行を開始しました。「筑紫野のるーと」の利用方法など詳しくは、「広報ちくしの」令和8年1月号や市ホームページでも紹介しています。 ID39725



この日以降、新たに3台の「筑紫野のるーと」が稼働しています

2/21

## 笑顔いっぱいの 楽しい運動プログラム あそびバ! in筑紫野



親子が一緒に遊びながら体を動かす楽しさを体験できる「あそびバ!」には、年中から小学校3年生までの子どもとその保護者97組194人が参加しました。このイベントは、近年、子どもたちの体力や運動能力の低下が問題となる中で、楽しく運動能力を向上させることを目的に開催されています。参加者たちは講師と一緒に、さまざまな運動遊びを楽しみました。



大人の輪の中から子どもたちがボールを持って脱出する遊び

2/15

## つくしちゃん 大牟田市



### ジャー坊とあそぼう♪ にゲスト出演

市のマスコットキャラクター「つくしちゃん」が大牟田市で開催された「ジャー坊とあそぼう♪」に出演しました。つくしちゃんはジャー坊と一緒に相性占いゲームやダンスをして遊び、会場を盛り上げました。また、会場を訪れた人たちに本市のことをお知らせしたり、一緒に写真撮影を行ったりし、「本市にも遊びに来てくださいね」とアピールしました。



ジャー坊や会場を訪れた多くの人たちと仲良くなりました

2/21

## みんなちがってバリ最高!



### 筑紫野市人権・同和問題講演会

市は、「人権尊重のまちづくり」を重要な施策とし、年間を通じて人権感覚を高める事業に取り組んでいます。講演会の第1部では、人権作文集「くさび」の掲載作品の朗読があり、当時二日市東小学校2年生の今永 みおかさん、二日市北小学校5年生の原田 侑志さん、筑紫野中学校3年生の笹口 大琥さんが自身の経験をもとに感じたことを発表しました。

第2部では、九州大谷短期大学人権論非常勤講師などをつ

とめるジェレノー治美さんが、世界で取り組まれている差別解消の取り組みや、国内の部落差別をはじめとしたあらゆる人権問題の解決に向けての取り組みについて講演しました。ジェレノーさんは、「差別は「嫌い」ではなく「知らない」から始まります。人権について正しく学び、希望を語り合いながら差別のない社会を共につくっていきましょう」と話しました。



朗読を行なった笹口さん、原田さん、今永さん



クイズやゲームなどもあり、会場一体となった講演会